

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成15年10月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.11



一般参加で植樹する親子



高千穂町五ヶ所三秀台



八戸小みどりの少年団

高千穂みどりの少年団



みどりのホームステイとして自宅で育てたツツジを植樹する五ヶ瀬町・三ヶ所みどりの少年団



来年4月に西都市で開催される全国植樹祭の記念行事として、西臼杵地区地域植樹祭が高千穂町で開催されました。郡内からは約300名が参加し、山桜やミヤマキリシマなど約600本を植樹しました。式典では、日之影町・八戸小みどりの少年団による活動発表や高千穂町・高千穂みどりの少年団による「みやざき悠久の森づくり県民憲章」の朗読、刈千切唄や太鼓演奏などが行われました(10月11日、高千穂町五ヶ所三秀台)

念願の亀山城橋が開通!



高千穂町野方野地区（写真上）と大野原地区（同下）を結ぶ亀山城橋



三代夫婦渡り初めは、野方野地区の佐藤さん一家が選ばれました。写真前列から、佐藤猛さん・サザエさん、佐藤守さん・由里子さん、佐藤宣久さん・昌子さん



橋名板は地元小中学生に書いてもらいました。写真左から、岩戸中3年の佐藤優気さん、岩戸小6年の戸高久恒君、同4年の足立和香奈さん、岩戸中2年の甲斐匡祐君

～ 開通区間のデータ ～

開通区間： 県道下野鹿狩戸線野方野交差点～
 県道緒方高千穂線大野原交差点まで
 延長：970m
 幅員：全幅員7.0m（車道幅員5.5m）
 橋梁工：亀山城橋（かめやまじょうばし）
 橋梁延長：135m アーチスパン：105m
 架設工法：ロアリング工法
 総事業費：13億9千万円（橋梁工：6億6千万円）

県営広域農道整備事業西臼杵2期地区では、9月29日に野方野交差点から大野原交差点までの開通式が行われました。野方野から大野原へ橋を架けることは、高千穂町と岩戸村の合併が行われた半世紀前からの地域の念願でした。亀山城橋が開通したことで営農の効率化だけではなく、地域間の交流や活性化に大きく貢献すると思われれます。当日は、秋晴れの下で三代夫婦・神面隊に続いて、150名を超える関係者全員で渡り初めを行い開通を祝いました。亀山城橋の開通により、野方・大野原間の移動時間は約10分短縮されました。

【一口メモ】 野方野地区について

この地区は、水稲・煙草・野菜・畜産を主産業とする85世帯の農村集落です。公民館の自主活動が盛んで、田植え祭を始め、夏の盆踊り大会や運動会、また、春の石神社例祭や冬の夜神楽奉納、大師祭・観音祭など神仏への崇敬の念も厚く、人々の強い絆が今も息づいている地区です。棚田が広がる美しい風景は、日本の原風景を見る想いがします。



棚田の美しい野方野地区



石神社の入り口にある「手力」

耕地災害復旧事業とは？

今年には台風の影響が大きく、中でも8月の台風10号による管内の農地・農業用施設の被害は約6億円にものびりました。

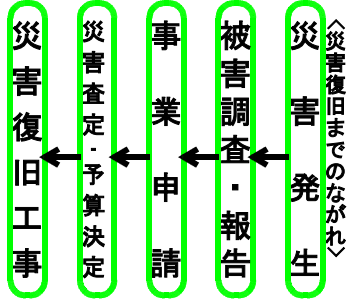
これらの災害の早期復旧を図り、農林水産業の維持を目的とした耕地災害復旧事業は、国からの補助金が事業費の約9割と非常に高くなっています。

そのため、国の財務局と農政局の係官が直接被災地を見て審査する『災害査定』では、「必要な維持管理がされていたか？」「適正な工法か？」など、様々な項目について厳しい調査がなされ、予算が決定されます。今年被災した農地・施設の災害査定は、5回以上に分けて実施されています。



被災した農地（高千穂町）

国・県・町とも災害復旧事業に取り組んでいるところですが、農地・農業用施設の円滑な復旧のためには、地権者及び施設管理者の皆様のご理解とご協力が不可欠となりますので、よろしくお願います。



被災した農道（日之影町）

市町村合併について真剣に考えよう！ 「住民説明会」各地域で始まる

市町村合併の住民説明会が10月から郡内3町で始まりました。

西臼杵では、今年2月に任意合併協議会を設立。7月までに全6回の協議を行い、地域将来構想（財政シミュレーション等）を作成しました。説明会では、町長などが地域将来構想の概要や将来の財政状況などを説明するとともに、直接住民と合併についての意見交換を行っています。

3町とも11月下旬には、住民説明会を終え、12月議会をめどに法定の合併協議会に進むかどうかの判断を行う予定です。



高千穂地区建設業協会が主催した研修会には、郡内の建設業者やJA高千穂地区、商工会など関係者約170名が参加しました。（高千穂町自然休養村管理センター）



五ヶ瀬町（廻溜生活改善センター）



日之影町（椎谷地区多目的研修集会施設）



高千穂町（押方体育館）

西臼杵郡 障害者スポーツ大会



フライングディスクを投げて輪の中を通す「アキュラシー」競技などを楽しむ参加者

10月10日（金）G パーク五ヶ瀬ドームで西臼杵郡障害者スポーツ大会が開催されました。大会には郡内の障害者約90名が参加。スポーツを通じて体力の維持や機能の回復を図るとともに、他の町の参加者との交流を深めました。

第52回宮崎県畜産共進会開催



県畜産共進会の様子

10月3～4日に串間市の南那珂地域家畜市場で、第52回県畜産共進会が盛大に開催されました。肉用種種牛の部には、県内から62頭、内西臼杵管内から7頭が出品され、団体3位に入賞しました。また、岩戸の甲斐和広さん（写真左）の出品牛が優等賞3席に入賞しました。今回の結果で、益々、肉用牛振興が図られるものと期待されます。

出品区分	出品者	出品名号	町名	JA支所
肉用種種牛 第1類 (3頭)	興梶 哲法	もりひめ	高千穂	上野
	甲斐 博文	ひろこ	高千穂	上野
	小方 幸男	よしふく	五ヶ瀬	五ヶ瀬
第2類 (2頭)	甲斐 和広	かずふく7	高千穂	岩戸
	佐藤 良輝	ふくみ	高千穂	田原
第3類 (2頭)	興梶 哲法	るりか	高千穂	上野
	佐藤ヨシ子	のりか	高千穂	上野

にぎわった最後の運動会(大菅小学校・桑野内小学校)

スポーツシーズンまっただ中、西臼杵管内で2つの小学校が最後の運動会を行いました。日之影町立大菅小学校(児童数16名)と五ヶ瀬町立桑野内小学校(児童数7名)です。両校とも来春の3月をもって統廃合され、その歴史に幕を閉じます。秋晴れの下、児童をはじめ多くの方が一堂に会しての大運動会となりました。

昔から受け継がれてきている大菅子ども神楽や桑野内音頭も披露され、子どもから大人まで思い出に残る1日となりました。



地区住民も参加した運動場いっぱいの大綱引き(10月5日 桑野内小)



桑野内小の閉会式入場の様子



伝統の大菅子ども神楽



秋晴れの下、地区をあげてにぎわった最後の運動会(9月26日 大菅小学校)

第8回夕陽の里フェスタ in五ヶ瀬



10月12日(日)、五ヶ瀬町桑野内で「第8回夕陽の里フェスタ」が開催されました。県内外から訪れた参加者にはカッポ酒が振る舞われ、地元の料理や神楽などを楽しみました。



最後は、1500発の打上げ花火が夜空を彩りました。



高千穂の地域限定通貨

「まがたま通貨」が発行されました



まがたま通貨と加盟店のステッカー

高千穂町の商工観光業者などで作る高千穂地域限定通貨企画実行委員会は、10月1日に高千穂の地域限定通貨「まがたま通貨」を発行しました。

1個500円でつま袋と呼ばれる袋に入れて4個セットで観光客などに販売。宿泊施設やおみやげ屋など町内92店舗が加盟していて、店によっては値引きなどのサービスもある魅力いっぱいの通貨です。

編集後記

高千穂は朝夕急に寒くなってきた。今年の紅葉は、期待できそうだ。▶県の総合長期計画が1年早く見直されることになった。根拠は、市町村合併と県の財政危機に対応するため。▶西臼杵では、合併の住民説明会が各地域で始まったが、出席者が少ないという声を聞いた。▶西臼杵は山々に囲まれ、神楽など地域固有の伝統を守り続けた地域であり、共同体としての結びつきも強い。しかし市町村合併は、自分の町や地域の将来を決める最も大切な課題だ。多くの住民がとことん議論した上で、結論を導き出して欲しいと思う。■

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

白熱した西臼杵地区所属対抗ソフトボール大会

10月15日(水)、高千穂町の運動公園で所属対抗ソフトボール大会を行いました。支庁各課、高千穂保健所、西臼杵農業改良普及センターが参加し、支庁林務課チームが優勝しました。

